親園小だより　和　No.８
令和２年１１月２７日
親園小学校長　白石　一成

教育目標　自然と文化を愛し、心身ともに健康で知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。　○自ら学ぶ子ども　○心豊かな子ども　○心身をきたえる子ども

大田原市児童生徒表彰条例による表彰式

１１月１９日に表彰式を行いました。校長あいさつとして、表彰されたみなさんの今までの積み重ねてきた一日一日が今日の結果になったこと。そして、その積み重ねには、自分が頑張ったのはもちろんですが、周りの人の協力があってこそ受賞できたと思ってほしい、ＴＶドラマの台詞の「感謝と恩返し」で今後も活動してくださいと話しました。また、最後に、この表彰をきっかけに、個人として頑張っていくことと、親園小学校の全員が、いろいろなことに全力で取り組み、ますます良い学校になることを願いますと全校生に呼びかけました。

健康賞	加茂　尚政さん	下釜　碧彩さん	村上　慶太さん	坂和莉里花さん
	橋本純之理さん			
努力賞	佐藤　由唯さん	和気　陽愛さん	髙橋　愛佳さん	山田莉乃愛さん
体育賞	戸田　優羽さん	前田　杏さん	大山　翔平さん	渡辺　凛久さん
	関谷　和弘さん			
親切賞	松村　彩未さん	江連　萌衣さん	鈴木　美稀さん	
学芸賞	秋元ひなたさん	小沼　実里さん	二瓶　怜亜さん	橋本　桜空さん
	三浦　大駕さん			

式の中の「御礼の言葉」では、代表の佐藤由唯さんが、「努力とは目的や目標に向かって力を尽くし励むこと」「（陸上部や駅伝部で）自己記録更新という目標を持ち、つらい練習でも一生懸命に頑張りました」「この賞をいただいたことを自信にして、さらに自分を磨いていきたいと思います」など、今後が楽しみな意見をしっかり発表していました。

校長会の市長講話から

大田原市内には現在小学校１９校、中学校が８校の計２７校があります。そこの校長の集まりを校長会といいます。その研修会で、市長さんからの話を聞く機会がありました。市長さんの学校教育に寄せる思いや要望を聞きました。その中に各校で取り組んでいる菊作りが取り上げられました。菊作りの発案者は、市長さんです。市の花である菊を作ることにより、郷土愛を育てるのが目的です。本校では、総合的な学習の時間の一環として３年生を中心に菊作りを進めています。菊作りには、専門的な指導をしてくれる、小林政男さん、土日の水やり等日々の管理を中心にやってくれる教頭先生、朝の水やりを手伝う環境整備委員会の子どもたち等多くの人や子どもたちが関わっています。今年度も見事な菊が咲きました。

さて、大田原市の花は、菊です。それでは、大田原市の木と魚は何でしょうか。昭和４９年（1974・校長小学６年生）に制定されました。市民憲章も同じ年です。市の木は、イチョウです。市の魚は、ご存じミヤコタナゴです。なんと全部親園小学校にそろっているではありませんか。学校にあるこの三種の神器をこれからも大切にして子どもたちの郷土愛を育てていきたいと思います。

子どもたちの様子はホームページで

親園小

１０月１日から親園小学校のホームページを公開しています。

ブログに子どもたちの様子を載せています。大きな写真の子に、昨日の見てくれたと聞くと「何のこと」という表情をします。（特に男子に多い）是非ご家庭の話題にしていただけると幸いです。

アドレスは、
https://ohtawara-city-chikasono-elementary-school. edumap. jp/
です。